

## 2017－2020 年度健康スポーツ科学科科学研究費採択一覧

- 1) 研究課題名：超急性期災害看護のレジリエンスを引き出すアクティブ・ラーニング教材（基盤研究C：研究代表者：庄司直人）2016年8月26日～2018年3月31日
- 2) 研究課題名：オプティカルセンシング技術を用いた高齢者の介護予防スクリーニングシステムの開発（基盤研究C：研究代表者：竹島伸生）2017年4月1日～2020年3月31日
- 3) 研究課題名：海外につながる子ども達の表現力・協働力を促進するドラマワークショップの開発（基盤研究C：研究代表者：松井かおり）2017年4月1日～2020年3月31日
- 4) 研究課題名：オノマトペの音声感性情報を活用した幼児のための道徳教育オーディオブックの開発（基盤研究C：研究代表者：藤野良孝）2018年4月1日～2021年3月31日
- 5) 研究課題名：魔法の言葉で運動能力がアップする?!「オノマトペ」で秘めたる力を引き出そう！（ひらめき☆ときめきサイエンス：研究代表者：藤野良孝，分担者：庄司直人，井上元輝，安達詩穂）2018年
- 6) 研究課題名：閉経後中高年女性の骨を、低回数ハイインパクトレジスタンストレーニングで強くする（基盤研究C：研究代表者：加藤 尊，分担者：今泉佳宣）2018年4月1日～2021年3月31日
- 7) 研究課題名：「お稽古場」およびダンススタジオにおけるレスンプログラムの実態（若手研究：研究代表者：安達詩穂）2019年4月1日～2021年3月31日
- 8) 研究課題名：赤外線深度センサーを用いた高齢者の介護予防システムの開発（基盤研究C：研究代表者：竹島伸生）2020年4月1日～2023年3月31日
- 9) 研究課題名：運動様式の違いが若年期アスリートのスクレロチン分泌に及ぼす影響（基盤研究C：研究代表者：本田亜紀子）2020年4月1日～2023年3月31日
- 10) 研究課題名：海外に繋がる子ども達と日本人児童生徒の共学をめざした言語活動の開発（基盤研究C：研究代表者：松井かおり）2020年4月1日～2023年3月31日

## 2018－2020 年度健康スポーツ科学科研究助成一覧

### 【宮田研究奨励 A】

- 1) アルペン・チェアスキーでの連続ターンのバイオメカニクス的研究（研究代表者：菅嶋康浩）2018年4月～2019年3月
- 2) 青年期男女における運動様式の相違が大腿骨骨量・骨形状に及ぼす影響（研究代表者：本田亜紀子）2018年4月～2019年3月（延長）
- 3) ラグビーチームの組織変革に関する実践知の探究（研究代表者：庄司直人）2018年4月～2019年3月
- 4) ダンスの種類別教育効果の比較に関する実験的研究（研究代表者：安達詩穂）2018年4月～2019年3月（延長）
- 5) 異なる振幅に対するチェアスキーのターン制御のバイオメカニクス的研究（研究代表者：菅嶋康浩）2019年4月～2020年3月
- 6) スポーツチームで縦横無尽のパワー行使を実現するプログラムの開発（研究代表者：庄司直人）2019年4月～2020年3月
- 7) 小学生柔道選手を対象とした浮き趾の実態と関連要因に関する研究（研究代表者：窪田友樹）2020年4月～2021年3月
- 8) 若年女性の貧血の発生頻度と鉄・タンパク質摂取の関係について（研究代表者：塚中敦子）2020年4月～2021年3月